

2021/8/4

(オマケの英語教室)

Pay attention in the case of using Japanglish (和製英語を使う場合は要注意) 書庫版



雇用契約が纏まり、さて契約書にお互いのサインをとということで

Plz sign on it (サインをお願いします)

とって契約書の署名欄を指し示したら、英語が堪能な女性外国人従業員候補さんから

What? Sign is? (サインて、何?)

と変な顔をされました。

仕方がないので

Your name write down here, plz (此处に名前書いてください)

とって事なきを得たのですが、後で調べてみると、こういう場合は日本語で「署名」英語で signature というのが正しい言い方だということが分かりました。

因みに英語での sign は日本語では「合図」です。

野球等でキャッチャーがミットで隠してピッチャー宛に右手指一本とか指三本等で表す

「合図」がサイン (sign)

合図を更に細かくひもとくと「意 (図) を示し (合) わせる」で合図。

なので、

I sent a secret sign by wink

は「ウィンクで秘密の合図 (示し合わせの印) を送った」ということになります。

そういうことから女性外国異人従業員候補さんは

Plz, sign here (ここに示し合わせの印 (合図) を書いてね) と「怪しげな要求」を突きつけられて戸惑ってしまったのです。

「なんかこの契約書、怪しくない? それと、このオッサンも」

というわけです。

我が国では何故「署名」のことを「サイン」というのかよく分かりませんが、外国人さんに対して知らぬ間に「怪しげな要求」をしていると思われる場合もあるので、和製英語を使うときには注意が必要でしょう。

(追記)

Signature の源流が sign + nature つまり「自然な (本来の) + 印」にあると解釈すれば、我が国で「署名」を「サイン」と呼び慣わすのも、あながち全くの間違いではなく、それなりに納得でき得るのかも？しれませんが。